

平成30年度静岡市協働パイロット事業 企画提案書

団体名：NPO 法人 Mnop

1 事業のタイトル

ロゲイニングで駿府の街再発見！

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください。)

本市スポーツの現状とその課題

本市は、スポーツ振興計画により、成人の68%が週1回以上スポーツを実施することを目標に掲げていますが、現在の実施率は50%程度と遠く及びせん。個別にみると、働き盛り、子育て世代の実施率が低く、実施しない理由として、「時間がない」、「面倒くさい」などが上位を占めています。一方、これからやりたいスポーツでウォーキングは34.1%とトップであり、サイクリング、ジョギングなども比較的上位に位置しています。日常空間でできるスポーツの提供がスポーツ実施率向上の鍵と言えます。

一方、市のスポーツ振興計画では、する、見るに加え「支える」を大きな柱に掲げ、「スポーツでまち元気にする好循環」の生成を謳っていますが、「支える」はスポーツイベントのボランティアが注目され始めていますが、まだ指導者のイメージが強く、その選択肢を増やすことが、その普及上でのポイントです。

本事業では、フォト形式のロゲイニング、を活用し、これらの課題解決の一助となることを目指しています。

ロゲイニングとフォト形式ロゲイニングの特徴

ロゲイニングは本来大自然の中での持久力を競うナビゲーションスポーツでしたが、フォト形式の誕生で、街中で気軽にウォーキング・ランニングを楽しみながら地域への愛着を高めるアウトドアスポーツとして定着しており、町起こし等にも広く活用されています。特にフォト形式ではポイントの写真に解説を付けることが一般的で、イベントで提供される地図+写真票自体が詳細な街の観光案内マップにもなります。グループで行うことを原則とするロゲイニングでは、ファミリー層の参加が多いのも特徴であり、スポーツ実施率が低い子育て世代や、元々スポーツにも馴染みの低い層にも、取り組みやすいアウトドアスポーツです。

本事業ではこのフォト形式ロゲイニングのメリットを最大限に生かし、H30年度からスタートするR&Rステーションを会場に2つのイベントを実施すると同時に、イベント時に蓄積された見所を常設コースとすることで、R&Rステーションの利用率を上げると同時に、日常的に市民がスポーツに親しめる場を創出します。

本事業の概要**①2つのフォト形式ロゲイニング「防災」「花」(会場：R&Rステーション)**

季節・時期に応じた2つのテーマのロゲイニングを実施します。主題は2018年9月「防災」、2019

年2月「春の花」。それぞれ、テーマに因むチェックポイント（以下、CP）を設置することで、市民、市外からの参加者がそれぞれのテーマを通して静岡市中心市街地を深く知り、愛着を高める機会を提供します。これにより、日常的に取り組めるスポーツの場を創出するとともに、市民がR&Rステーションを利用するきっかけを提供します。（なお事業継続の際には2019年度に主題「今川」を実施します）。

- 定員：150人（毎回）
- 参加費：一人500円（または1グループ1000円）
- 対象者：自力で移動することのできる方（過去の実績では日頃運動の少ないと思われる親子でのレクリエーションな参加も2-3割程度あります）
- 当日スケジュール概要：9:00受付、10:00スタート、11:30終了、12:00表彰式

②「春の花」では、市民からのCPを公募

2回目となる「春の花」では、市民から春の花のお勧めCPを公募します。公募では場所についての紹介文と写真を送ってもらいます。応募されたポイントは本NPOの担当者により確認の上、採否を決定します。本イベントで「春の花」の見所を知ることで、その後ウォーキングなど街を活用したスポーツ実施意欲を喚起します。

CPが採用された者には、イベント招待権を授与し、家族・友人など1名をイベントに無料で招待することができます。またCP採用者も参加は可能としますが、表彰は独自のカテゴリでおこないます。

通常のイベントに加えて、CP設定に参加することで、静岡市街の隠れた魅力を自ら発見する契機を提供します。なお、このCP公募については、本法人が毎年1月に静岡市内で実施している「有度山ロゲイニング」（参加者約450人）にてPRすることで、より多くの応募が見込まれます。

③常設コースとして地図・解説書を作成、R&Rステーションに常置します。

①で提案した二つのイベントで作成した地図、ポイントを元に、常設コースを作成し、R&Rステーションで頒布します。これによりいつでも誰でも自由に地図を見ながら市街地の名所・史蹟をラン/ウォーキングで巡ることができます。これによってR&Rステーションの周知と利用率の向上に貢献すると同時に、中心市街地のプチ見所を集約し、「スポーツでまちを元気にする」一助とします。

団体名：団体名：NPO法人 Mnop

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

当法人の役割

①フォト形式ロゲイニングイベントの開催（機会の創出）

フォト形式ロゲイニングのCP箇所の調査、コース設定、地図作成、及び当日の運営を行います。

②CP公募のPRおよびその集約

「春の花」のイベントでは、CPの公募PRから集約、選定まで行います。

③フォト形式ロゲイニング常設コースの設定（場の創出）

①の成果を利用して、フォト形式のロゲイニングまたはオリエンテーリングコースを設定、地図作成します。またその記録を集約するホームページを運営します。

④コアユーザー向け広報

広報用のチラシを作成し、ロゲイニング、アウトドア愛好者などのコアユーザーむけの広報を行います。

市に担ってほしいこと

①広報（広い一般市民向け）

日頃スポーツに親しみのない一般市民向けの広報（ウェブ、広報誌、公共施設におけるチラシ配布などを想定）

②場の確保（R&Rステーション、中央体育館を想定）

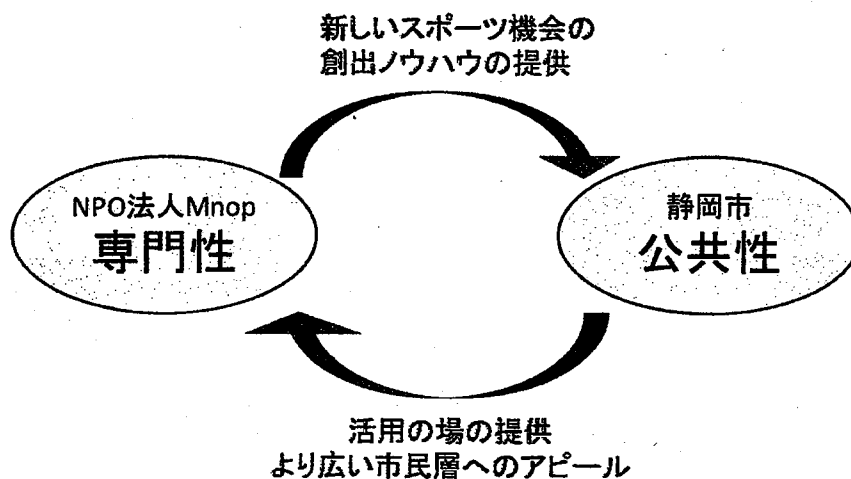
ロゲイニングイベントの会場としてのR&Rステーションの確保

③イベント開催時の人的補助

当日の参加費徴収や受付業務の補助。

④マスコミへのプレスリリース

イベントのテーマは「防災」「春の花」、また継続になった場合は生誕500周年を迎える「今川」をテーマとする予定です。いずれも高いニュース性を有しています。特に「防災」や「今川」は静岡市／静岡県ならではのテーマであり、積極的にメディアへのリリースをお願いしたい。



4 事業計画・実施スケジュール

2018年6月末：第一回打ち合わせ

業務分担、今後のスケジュールの確認、構想の確認

「防災」ロゲイニングの実施準備

事業全体のPRの開始

2018年9月：フォト形式ロゲイニング「防災」実施

R&Rステーションを利用し、防災の日に因む「防災」ロゲイニングを実施

2018年10月：第二回打ち合わせ

「防災」ロゲイニングの反省および有度山ロゲイニングでの広報、CP公募についての事前準備

2019年1月：有度山ロゲイニング実施（イベント自体は本事業外。広報の場として活用）

2019年1月～CP公募（～2月上旬まで）、その選定作業を継続

2019年1月：第三回打ち合わせ

「春の花」ロゲイニング計画の確認

「春の花」ロゲイニング実施準備

2019年2月：フォト形式ロゲイニング「春の花」実施

2019年2月：常設コースオープン

2019年3月：実施報告書の作成と提出

上記以外にイベントおよび常設コースのPRは、当法人ウェブサイトやFBなどを通じて随時実施します。

団体名：団体名：NPO 法人 Mnop

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

村越真（本法人理事長。静岡市在住） 事業の統括

静岡大学教授（専門：認知心理学・野外活動）。世界選手権（2010,2012,2014,2016,2017年）を含めた国内外のロゲイニング大会への豊富な出場経験を持つ他、本法人理事長として、2007年以降、ロゲイニングの実施運営に携わる。朝霧高原ロゲイニング、富士山麓ロゲイニング（いずれも県朝霧野外活動センター主催）、トレラン・オリエンテーリング等のアウトドアイベントにおいてディレクター、安全管理マネージャーを多数務める。

（公社）日本オリエンテーリング協会副会長として、ロゲイニングシリーズ戦の運営・調整役も担う。

小泉成行（本法人登録スタッフ。川根本町在住） イベント技術面の準備および当日進行管理

O・support 主宰。オリエンテーリングの現役競技者として世界選手権に多数回出場。イベント運営者として、各地のロゲイニング大会のコース設定や、1200名以上の参加を集める OMM(オリジナル・マウンテン・マラソン)日本大会の競技ディレクターを務める。

石原寛子（本法人事務局。静岡市在住） 受付・広報・事務

本法人事務局局員として2005年より本法人の事務・広報を担当。またロゲイニングイベントの受付、参加者データ管理を2007年以降担う。

桑原孝明（本法人登録スタッフ。静岡市在住） イベントの計測を担当

2016年度より本法人登録スタッフとして、イベントの計測実務を担当し、当法人のロゲイニング大会（2017,2018年）、その他水見色トレイルランニング大会、朝霧高原ロゲイニングの計測担当を担ってきた。

その他に防災ロゲイニングに詳しい美澤綾子氏（静岡高校教員）を、「防災」ロゲイニングのコース設定のアドバイザーとして依頼している。またイベント運営スタッフとして、4名程度が参加予定。

団体名：団体名：NPO 法人 Mnop

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

【専門性】

当法人は、オリエンテーリングやナビゲーションスポーツの普及発展のため設立された NPO です。2008 年以來、静岡市内でのロゲイニング大会を単独で毎年開催し、毎回 400-500 人の参加を得ています（うち約 3 割が県外）。ポイントの探索と設定、正確で読みやすい地図の作成と印刷、当日のスムーズな運営管理、ロゲイニングコミュニティに対する発信力など、本事業を遂行する上での高い専門性を有しています。

また、これまで生涯学習館アザレアのロゲイニング、附属静岡小学校のPTAのためのロゲイニングなど開催実績があり、本事業対象エリアである駿府城の周囲のポイント候補やその位置関係についても豊富な情報の蓄積があります。

【独自性】

本イベントの核となるフォト形式ロゲイニングは、近年多くの自治体で地域起こしなどにも活用されていますが、本事業には以下の点で高い独自性があります。

*毎回街に関するテーマ設定をすることで、都市という場を有効活用し、スポーツ施設ではない場所でのスポーツ参加機会を創出すること。

*防災、春の花、などを主題とすることで、スポーツ以外に興味を持つ市民がスポーツに親しむきっかけを提供します。これはロゲイニング以外のスポーツにはない独自性です。

*テーマ「防災」によって、スポーツを楽しみながら、市民の防災力を高めることができます。

*CP 公募の制度によって、より多くの市民を巻き込むことが可能となり、気軽に企画・運営に参画することができる「参画型スポーツイベント」が生み出されます。

*R&R ステーションを会場として利用し、またその周辺のプチ観光資源を集約・周知することで、R&R ステーションの利用の増進につなげます。

【先駆性】

「防災」をテーマとするロゲイニングは本市に在勤の美澤綾子氏（静岡高校地学教員）がスタートしたものであり、まだ発展途上ですが、本市発の防災ゲームとして、イベントを契機に広く普及し、市民の防災力向上につながることに加え、一刻を争う津波避難が必要な沿岸部を初め多くの地域への普及が期待できます。アウトドア用品が防災に役立つことは知られていますが、アウトドアスポーツを通じて防災力を高める機会を提供することに、高い先駆性があります。

CPの公募は、日本スポーツ協会（旧日本体育協会）が提唱する、する、みるだけでなく、「支える」の理念や本市のスポーツ振興計画の柱とも合致しています。「する」－「支える」に連続的に取り組めるところに、本事業の先駆性があります。

【実績】

本法人は、上記のようにこの10年間ロゲイニング大会を単独開催している他、以下のようなイベントの技術面での主管や講師派遣をしています。県・市の関連するアウトドアスポーツイベントでも豊富な受託実績を有しています。

●2007～現在まで：オリエンテーリング朝霧（県立朝霧野外活動センター主催）：ロゲイニングのイベント主管・総合監修

●2010～現在まで（隔年）：富士山麓ロゲイニング（県立朝霧野外活動センターと共催）：ロゲイニングイベントの主管

●2012～2014：トレイルランニングレース in たまかわ（市中山間地振興補助対象）：コース設定および技術部門の主管

●2015～現在：水見色トレイルランニングレース（市中山間地振興補助対象）：コース設定および技術部門の主管

- 2016年：親子の地図読み講座（生涯学習館アイセル主催）：地図の読み方講習＋ロゲイニングのコース設定、運営
- 2017年：和田島 de トレラン&ロゲイニング（市和田島自然の家）ロゲイニングの講習および運営
- 2017年：駿府の街再発見ロゲイニング 2017（市スポーツ振興課主催）：コース設定および当日の運営
- 静岡大学公開講座：安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル（初級・中級編）（静岡大学と共催）

【2年間継続することの効果】

*スポーツを「する」から「支える」に関心に向けていくためには、一定の時間が必要です。2年間イベントを継続することで「する」イベントへの参加から「支える」イベントへの参加がスムーズに移行できます。

*2年目が今川義元500周年に当たることから、2年計画とすることで、本市にとっても歴史上特徴的な年である2019にイベントを開催することができます。

平成30年度静岡市協働パイロット事業 見積書

団体名:NPO法人 M-nop

事業のタイトル:ロゲイニングで駿府の街再発見!

項目	金額	説明(算出根拠)
人件費	215,000	地図・コース作成(180,000)、事前準備(15,000)、当日イベント補助(20,000)
消耗品	20,000	(ビニール袋、筆記具等)
印刷費	100,000	地図・写真票(60,000) チラシ(10,000)、常設コース(30,000)
参加賞	30,000	100×150人×2回
交通費	10,000	事前準備、当日交通費
スポーツ障害保険	15,000	50×150人×2回
事務管理	39,000	(上記費用の10%)
小計 A	429,000	
消費税 B = A × 0.08	34,320	
合計 A + B	463,320	

※参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
		参加費徴収あり

※実費弁償による契約締結の希望 (いずれかに○をつけてください。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
--------------------------------------	---